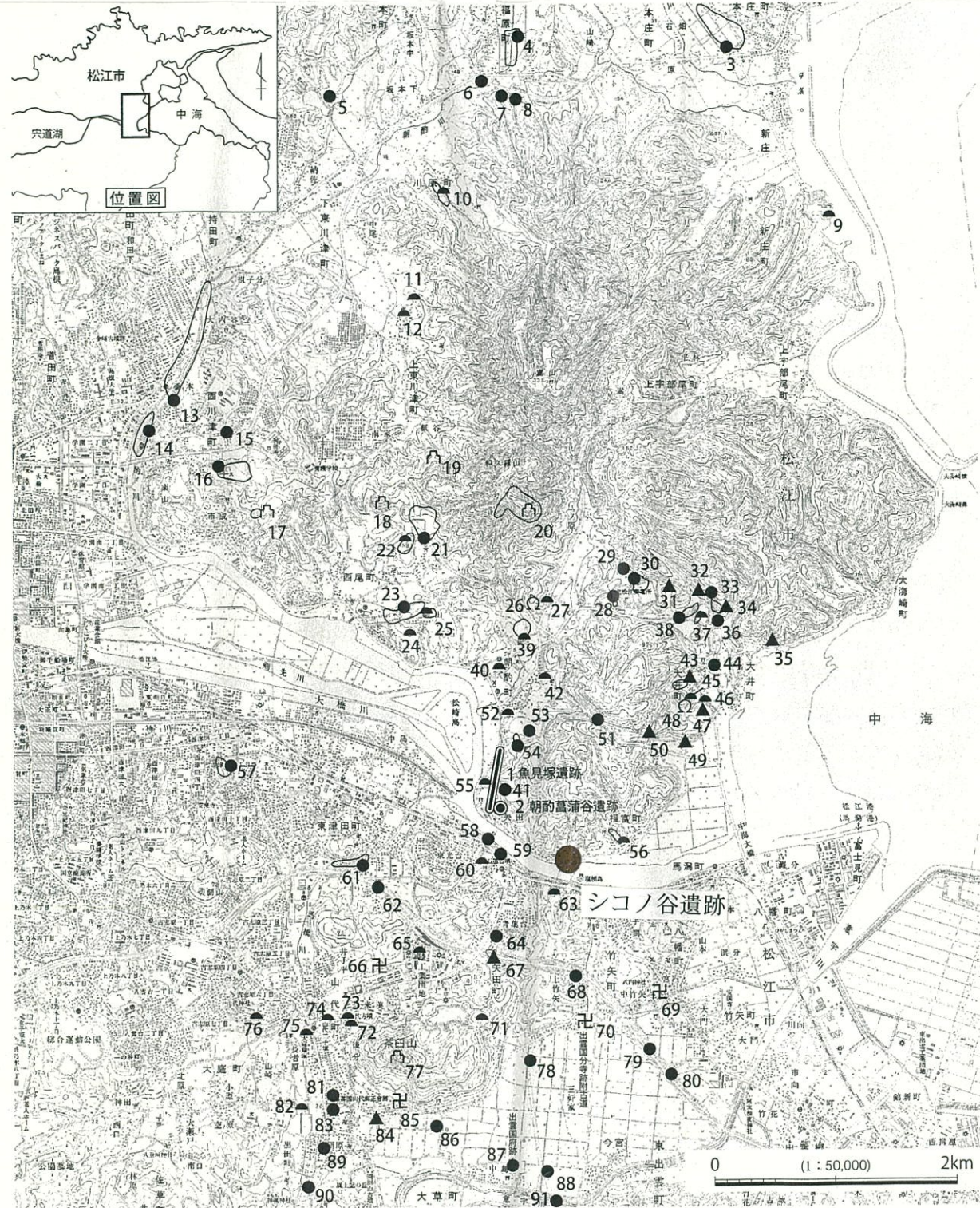


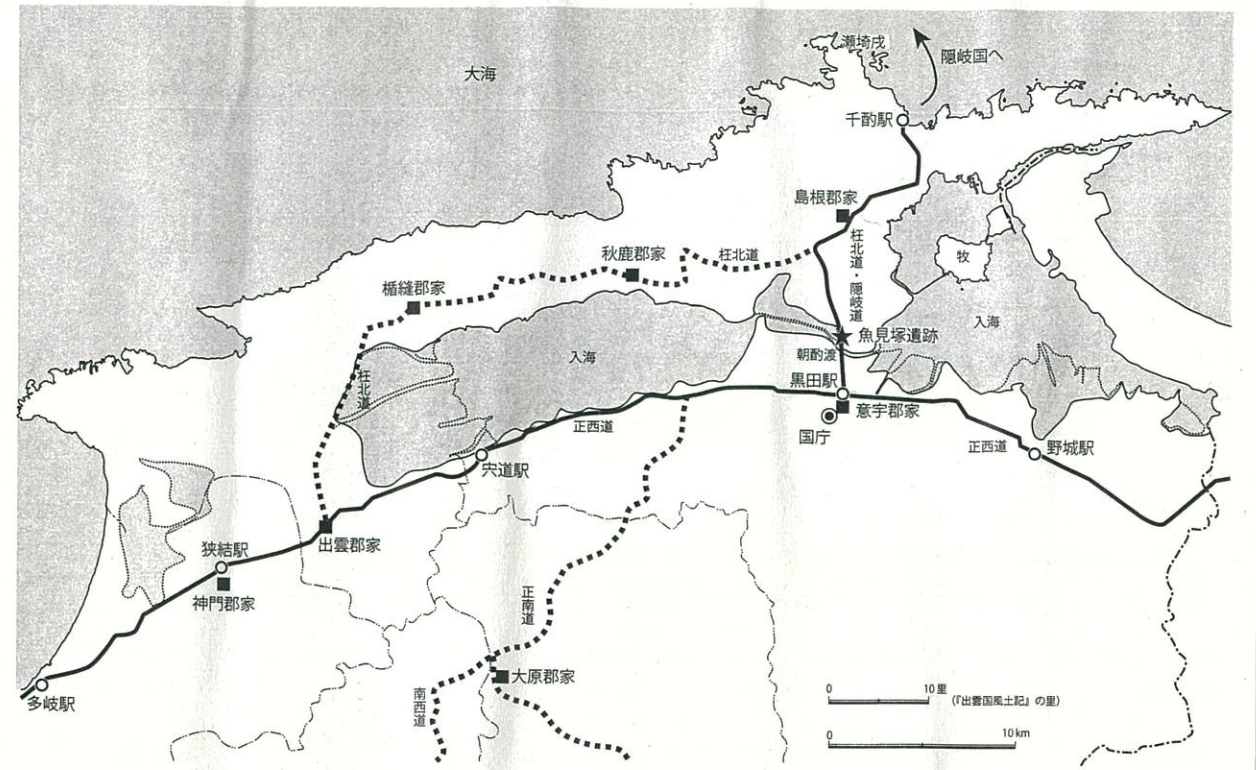
シコノ谷遺跡の調査成果

調査第3課 廣江 耕史

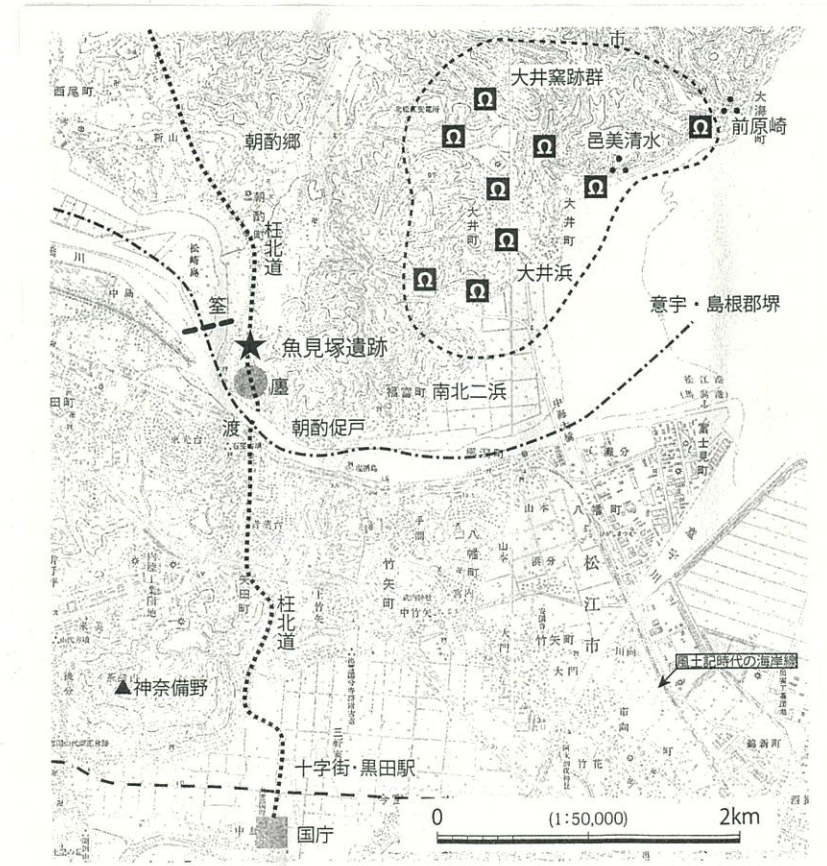


- |           |            |               |               |           |               |               |
|-----------|------------|---------------|---------------|-----------|---------------|---------------|
| 1 魚見塚遺跡   | 14 タテチョウ遺跡 | 27 九日宮古墳群     | 40 旧朝酌の小学校庭古墳 | 53 天井遺跡   | 66 山代郷北新道院跡   | 79 布田遺跡       |
| 2 朝酌菖蒲谷遺跡 | 15 柴川遺跡    | 28 藤沢A遺跡      | 41 橋ノ谷遺跡      | 54 キコロシ遺跡 | 67 平所遺跡       | 80 夫敷遺跡       |
| 3 的場遺跡    | 16 堀廻遺跡    | 29 三大寺遺跡      | 42 朝酌の上神社跡古墳  | 55 魚見塚古墳  | 68 オノ峠遺跡      | 81 山代郷正倉跡     |
| 4 芝原遺跡    | 17 J15城跡   | 30 別所遺跡       | 43 寺尾遺跡       | 56 阿弥陀寺古墳 | 69 出雲国分寺跡     | 82 東瀬寺古墳      |
| 5 沢下遺跡    | 18 二保山城跡   | 31 勝田谷遺跡群     | 44 九日田遺跡      | 57 東城ノ前遺跡 | 70 下黒田遺跡・黒田館跡 | 83 山代郷南新道院跡   |
| 6 東前田遺跡   | 19 一ノ谷遺跡   | 32 明善齋跡       | 45 大井古墳群      | 58 官道下遺跡  | 71 細田1号墳      | 84 山代郷南新道院瓦葺跡 |
| 7 大谷口遺跡   | 20 和久羅城跡   | 33 池ノ奥A遺跡     | 46 山巻古墳       | 59 瀬遺跡    | 72 永久宅後古墳     | 85 山代郷南新道院跡   |
| 8 中瀬遺跡    | 21 米坂遺跡    | 34 池ノ奥B遺跡     | 47 廻谷遺跡       | 60 石屋古墳   | 73 山代方墳       | 86 大坪遺跡       |
| 9 八日山古墳群  | 22 米坂古墳群   | 35 山津遺跡       | 48 後平橋六墓群     | 61 石台遺跡   | 74 山代二子塚古墳    | 87 出雲国府下層遺跡   |
| 10 川原古墳   | 23 山辺遺跡    | 36 池ノ奥C遺跡     | 49 ハバタケ遺跡     | 62 勝負遺跡   | 75 大庭鶏塚古墳     | 88 大屋敷遺跡      |
| 11 薬佐馬古墳  | 24 観音山古墳群  | 37 イガラヒ遺跡・古墳群 | 50 岩汐塚遺跡      | 63 手間古墳   | 76 向山1号墳      | 89 黒田趾遺跡      |
| 12 西宗寺古墳  | 25 廟所古墳    | 38 池ノ奥D遺跡     | 51 岩汐峠遺跡      | 64 間内越墳墓群 | 77 茶臼山城跡      | 90 中西遺跡       |
| 13 西川遺跡   | 26 遅倉横穴墓群  | 39 廻原古墳群      | 52 朝酌岩屋古墳     | 65 茶美墳墓   | 78 上小較・向小較遺跡  | 91 天満谷遺跡      |

魚見塚遺跡・朝酌菖蒲谷遺跡周辺の遺跡



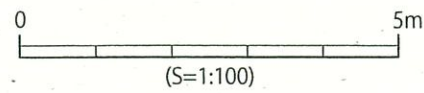
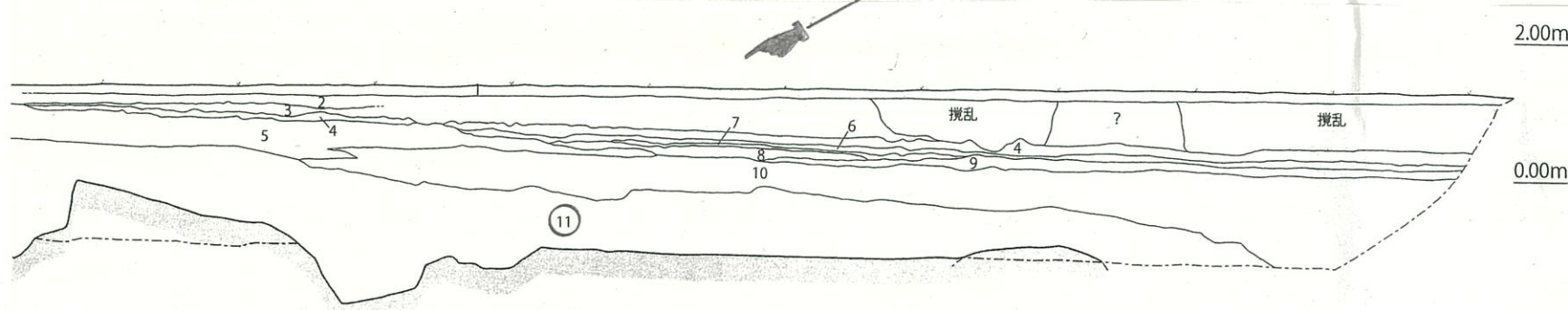
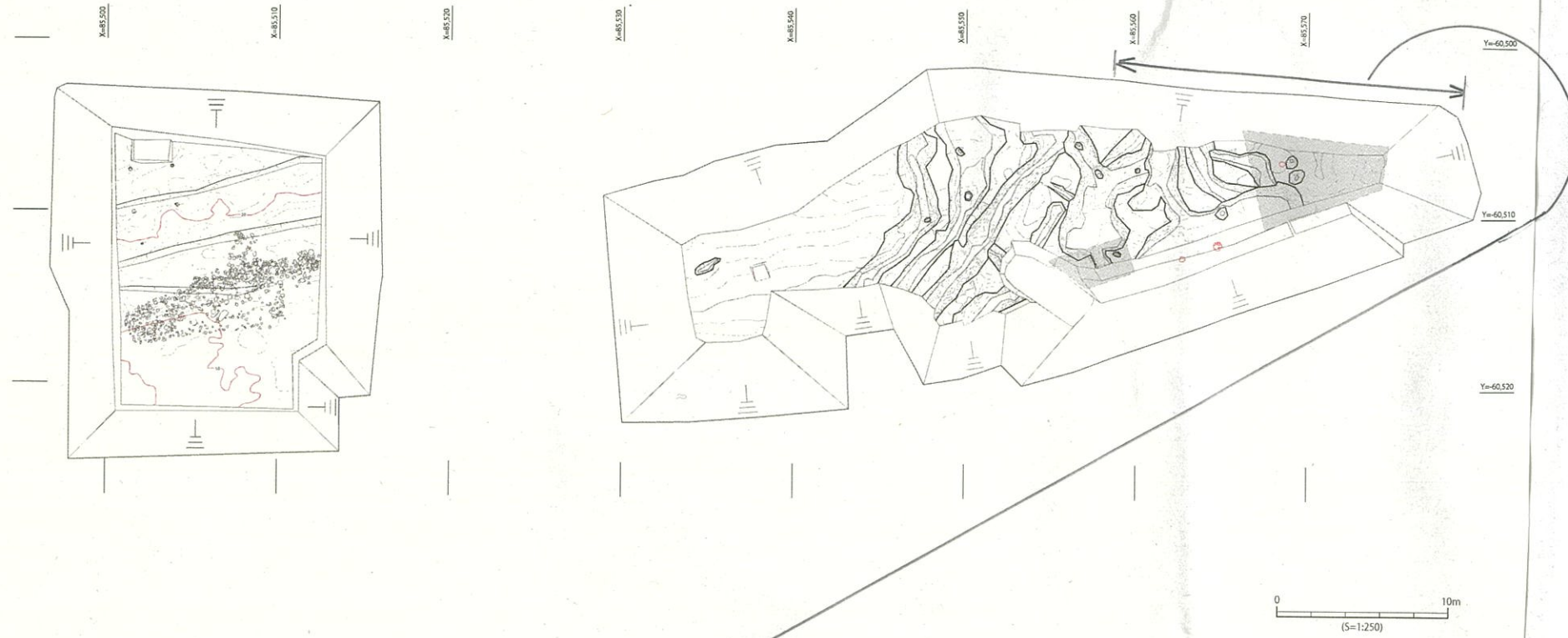
『風土記』から復元した出雲国の交通



『風土記』から復元した朝酌地域

「魚見塚遺跡・朝酌菖蒲谷遺跡」松江市教育委員会 平成30年3月より転載

シコノ谷遺跡調査区配置図



- 1、暗灰色土 (水田耕作土)
- 2、灰色礫 (小さな礫を含む)
- 3、木灰色粘質土
- 4、暗灰色粘質土
- 5、灰色砂礫 (砂・小石・礫の混入土)
- 6、暗灰色砂質土 (小石含む)
- 7、灰白色砂 (黄色砂のブロック含む)
- 8、暗灰色砂 (小石含む)
- 9、暗灰色砂 (粘性あり)
- 10、灰色砂
- 11、灰色砂礫 (礫大きめ、縄文晩期の包含層)
- 12、灰色砂 (砂少量混入、木器含む、縄文晩期の包含層)
- 13、白色粘質土 (地山)

海面高度 (標高m)

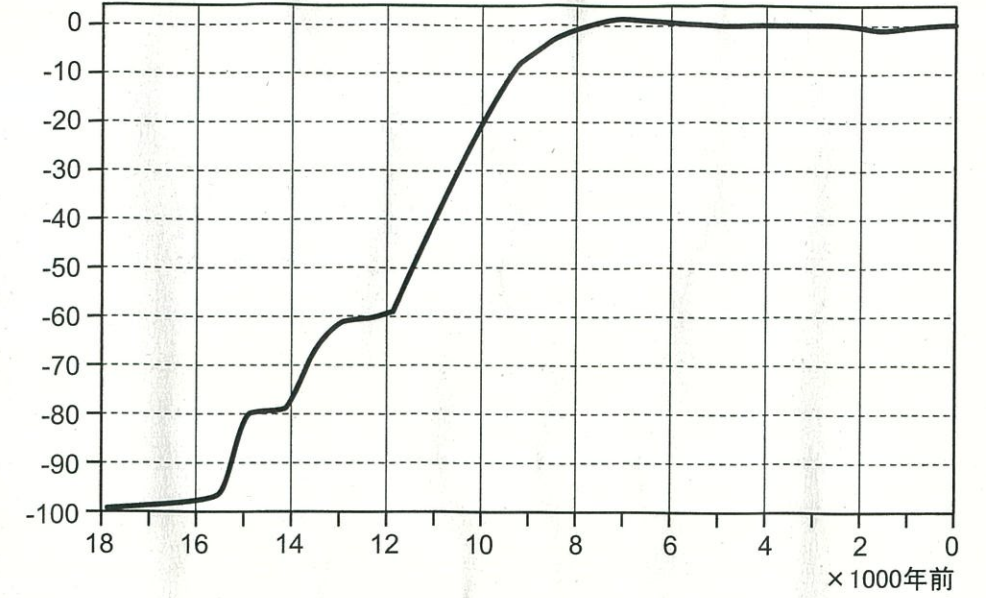
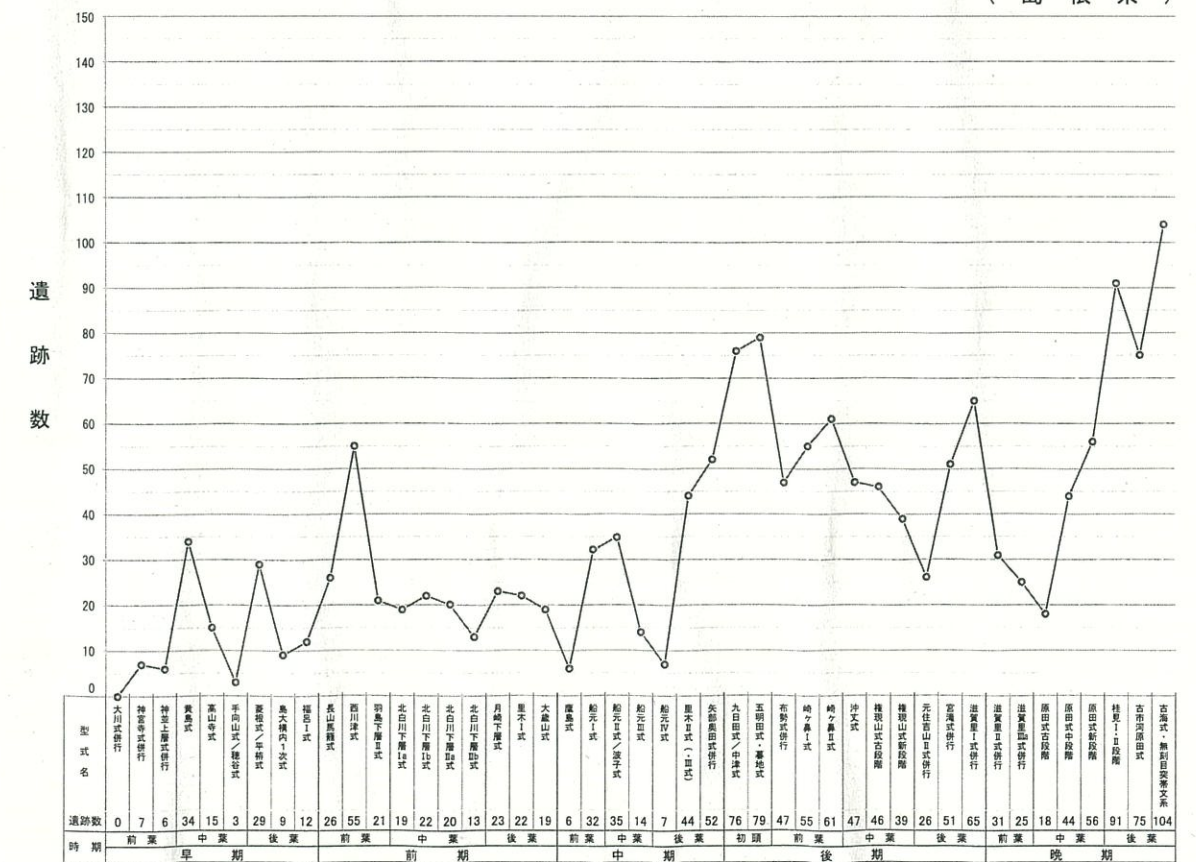


図1 中海・宍道湖地域の後氷期の海水準変動

縦軸が海面の高さ (標高)、横軸が年代を示す。当地では、最終氷期最盛期以降に急上昇した海面は、7000年前までには現在と同レベルに達し、その後は6000年前頃に最大で1.5m上昇した可能性がある。その後は、2000年前から1500年前頃に若干の海面低下の可能性がある。

中村唯史「縄文時代の島根県の古地形と三瓶火山の活動の影響」2014年3月より

( 島 根 県 )



山陰地方の型式別にみた縄文時代遺跡数の推移 (上: 鳥取県 / 下: 島根県)